

会 議 録

会議名称	タウンミーティング (麦生)	記録者	健康福祉課 課長補佐
日 時	平成29年10月10日(火) 午後7時～午後8時55分		
場 所	麦生会館		
出席者	<p>町 : 町長、教育長、参事、財政課長、企画振興課長、健康福祉課長、地域整備課長、学校教育課長、生涯学習課長、危機管理室長、健康づくり推進室長</p> <p>区長会 : 麦生区長</p> <p>住 民 : 28人</p>		
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明(参事) 4 町政報告(財政課長、企画振興課長) 5 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校・保育所統廃合について(学校教育課長・健康福祉課長) ・下水道使用料について(地域整備課長) ・地区等からの要望等 6 フリートーク 7 閉会 		
会議結果	<p>【小学校・保育所統廃合について】</p> <p>●質問 保育所は保護者が送迎する。統合するとバスの巡回を行うのか。資料の経費にバスの分は含まれているのか。</p> <p>○(健康福祉課長) 要望を聞いて。スクールバスは今後の検討課題である。資料の経費には含まれていない。</p> <p>○(総務課長) 現在、保育所ではバス運行を行っていない。</p> <p>●質問 通学時に、小学生を車で送迎しているところをよく見る。バスを、全員利用するかは分からない。バスの台数は、児童全員分を見なくてもよいのではないか。</p> <p>○(学校教育課長) 平成31年度に志雄地区は志雄小学校に、押水地区は相見小学校に統</p>		

合した場合の人数をカウントして、バスの台数を算出している。車で送迎している保護者が多いと言う話だが、基本的に小学校区は徒歩で通学できる範囲ということで、学校が変わらない児童は、徒歩での通学を考えている。

●質問

複式学級は絶対やめてほしい。本町は学力で県内トップクラスなのに、複式学級になると学力が低下すると予想されて可哀想だ。子どもの親から、統合についての意見は出ているのか。

○（学校教育課長）

昨年度、保護者向けの統廃合説明会を開催したが、保護者の意見は様々だった。「複式は避けて欲しい」、「地元から小学校が無くなったらさびしい」「絶対に地域から無くなってほしくない」等の意見があった。

○（町長）

タウンミーティングや先生からも意見を伺っている。賛成の方も反対の方も、色々な意見の方がいた。考えを深めるためにも、意見を伺いたいということで、タウンミーティングで各集落を伺っている。現在は「統合する」「統合しない」の両面で考えている。

●質問

保育所が2か所に統合した場合、人数的に狭くならないか。775万円の初期投資で実現できるのか。

○（健康福祉課長）

今の保育所の規模で、相見保育所・南部保育所に統合した場合でも入ることはできる。

●質問

余裕はあるのか。窮屈にはならないのか。

○（健康福祉課長）

はい。

【下水道使用料について】

●質問

水洗化率87%という数字は、下水道に入っている世帯の割合か。

○（地域整備課長）

水洗化率というのは、下水道が整理された区域の中で、実際に接続されている方の割合である。

●質問

志雄地区の割合が低いのは、接続していないということか。

○（地域整備課長）

押水地区は、3年以内に接続するという事で、集落をあげて接続の取組みをされていた成果が表れている。志雄地区の方は、3年以内の接続に変わりはないが、直接個人に依頼していく感じだったのが数字に表れていると思う。

●質問

水洗化率が悪いと、財源が減る。赤字になる。水洗化率を100に近い数字に持っていかないといけないと思う。

○（地域整備課長）

水洗化率及び接続の向上については、10月に入って強化月間ということで、夜間などに未接続の方に対して加入促進を行っている。

●質問

羽咋市の水道料金を見ていると、本町より安い。他の市町の金額や水洗化率を聞きたい。

○（地域整備課長）

羽咋市との使用料の違いは、下水の方は10m³あたりの本町の基本料金は2,484円、羽咋市が1,620円、かほく市が8m³あたり907円ほどということで、かなり差がある。一方で年間の経費は平成27年度の決算では本町は72,400円ほどで、これに対して羽咋市は62,700円、かほく市は58,400円ほどである。世帯数が減っていくにつれて経費の負担割合が大きくなり、人口が多ければ緩和される。

●質問

上水・下水ともに手取川の県水を買っているのではないのか。上水を使うから下水も使う。手取川の料金を下げる、使う量を少なくすれば下水道の負担も少しは楽になるのではないのか。

○（地域整備課長）

県水は単価が少し下がっているが、県水の受水13市町の連名で、使用料単価をもう少し減額してほしいという要望を今月も行う予定だ。

●質問

減免制度は申請式か、町で把握して行うのか

○（総務課長）

申請主義だ。

○（町長）

下水道の料金については、他市町よりも高い金額となっている。減

免措置もあるものの、低所得でありながら条件を満たさない方もいて、そういった方には少し負担を下げられないかと思っている。皆さんにも。多くは下げられないが、少し下げる方向で見直したいと思う。

【地区等からの要望等】

●災害時の緊急連絡網の整備と避難路のLED取付

①今年防災訓練で無線連絡の不備が判明。対策ができましたか？

○（危機管理室長）

6/25に2017宝達志水町防災訓練の中で、各集落会館にある防災行政無線の無線機を活用し、町民の避難状況や被害状況等を役場に連絡していただく、情報収集伝達訓練を実施しました。

一部集落で通信の混乱があり、うまく情報伝達できなかった集落があったため、改めて無線機の操作方法を説明したうえで、各集落と町で再度無線機を活用した訓練を実施するところです。

今後も同様な訓練を、繰り返し実施することで、非常時に情報伝達体制の強化を図りたいと考えております。

●②防災放送が聞こえない範囲が多いが、対策は出来ましたか？

○（危機管理室長）

町では、町内83箇所に防災行政無線の屋外拡声子局（スピーカー）を整備し、平成26年4月から運用しています。

屋外拡声子局は、基本的に各地区会館に設置し、音達できない場合は地区により複数の子局を設置しています。

自然条件などにより放送内容が聞き取りにくい場合は、放送の内容を下記の情報伝達手段で提供していますので、一度、ご確認ください。

①「メール配信サービス（安心ほっとメール）」

②「ホームページ」

③「ケーブルテレビ」

④「電話応答装置 TEL 29-2288」

●③対策案として、有識者専門部会で検討して答申書の作成

○（危機管理室長）

今後の防災に関する対策ですが、宝達志水町では、国や石川県の計画等を踏まえて、宝達志水町地域防災計画を策定し、この計画のもと地震災害や原子力災害等の各種災害ごとに対応を行っています。

本町では、宝達志水町防災会議の中で地域防災計画の見直しや防災に関する重要事項などを審議しております。防災委員のメンバーは、警察、宝達志水消防署長、消防団長、自主防災組織を構成する者、学識経験者等25人以内のメンバーで構成しており、専門的な調査が必

要な場合は、専門委員を置き審議を行っております。

今後も、災害に強い安全で安心なまちづくりを進めるため、地域のみなさまと協力していきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

●コミュニティバスの利用対策

①朝晩だけで昼間の運行がない理由はありますか？例えば病院へ行ったら帰りの便が長く待つこととなりますが対策はありますか？

○（企画振興課長）

コミュニティバスは平成27年4月に開校した宝達中学校において、生徒の送迎に使用するスクールバスの空き時間を有効活用し、町民の新たな生活の足となるよう、町内での巡回運行を行っております。

平成27年は試験運行として、午前と午後の2回運行を行っていましたが、利用状況等から平成28年の本格運行では1日1回の運行としております。

平成29年5月からは、宝達志水病院の開院に合わせ、ルートの変更を行っておりますが、乗降の多い宝寿荘利用者の利便性向上を優先させて時刻表を作成しております。

ご意見や利用状況等を踏まえ、検討させていただきます。

●②どれくらいの方が利用していますか？調査結果から改善方法がありますか？

○（企画振興課長）

平成29年5月の宝達志水病院の開院に合わせ、運行ルートを見直しました。その新ルート後の利用状況（平成29年5月～7月）ですが、累計1,621人で、日平均は27.1人となっております。この数字は変更前の利用状況（日平均：26.2人）と比べると若干の増となっております。

今後も利用者の満足度向上等を考え管理運営していきます。また、年に数回開催しております町、住民代表、バス事業者、関係者等から構成される地域交通会議において、運行ルート・運行ダイヤについても引き続き協議してまいります。

●③デマンドタクシーは、何台ありますか？6人以上の時、配車を可能にできますか？

○（企画振興課長）

現在、乗客4人乗りが3台と、乗客9人乗りのジャンボタクシー1台、計4台で運行しています。乗車場所や方向等で運行台数は変動しますが、同時に21人までが同時に乗車可能としています。

●④コミュニティバスの廃止の検討がありますか？

○（企画振興課長）

現在のところ、廃止についての検討はありません。今後コミュニティバスとデマンドタクシーのそれぞれの長所を活かし効率的な運行を検討していきたいと考えております。

●空き家の販売・新住宅及びアパートについて

①町所有地の販売。補助金を出して土地の販売（行政調査）

○（企画振興課長）

町有地の売却につきましては、現在、駅東部用地等を分譲しているところです。

購入に伴う補助金の交付については、土地の購入に関しては補助金を出していませんが、町が分譲した宅地を購入し、戸建住宅を建築した場合 50 万円の奨励金の上乗せ（40 歳未満）をしております。

この奨励金は、新築、建売、中古住宅を新たに購入し、要件に該当した場合、住宅新築等奨励金(最大 120 万円)を交付しております。

空き家バンク制度も設け、登録物件の改修に助成金(最大 50 万円)を交付しております。

また、今後、人口減少対策のため、町有地等を活用した宅地造成を行っていききたいと考えております。

●②モデルハウスを多少のニーズに合ったように、変更できる家の販売

○（企画振興課長）

現在、町での建物の販売は実施しておりませんが、いまほど説明した制度で定住促進を図っているところです。いただいたご意見は、大切にして今後の移住・定住支援対策の参考とさせていただきます。

●医療費増加対策

①町は今後、どうした対策をとるのか、計画書を発表してほしい。町民を入れた専門部会で協議する予定はありますか？

○（健康づくり推進室長）

国保データヘルス計画において、医療（レセプト）の分析を経年的に行っています。医療費の負担が増大している疾患、また、長期化する疾患について、重症化しないように保健師・栄養士が家庭訪問を行い個別に対応しています。また、計画については、町の国保運営協議会に提示し、委員から意見をいただき協議する場を設定しています。

●②健康維持対策の町施設の利用度はどうですか。利用者の満足度はどの位ですか。男性の利用が少ないように思いますが、どんな方針で

実施しますか。利用者のニーズに合った運営に希望します。

○（生涯学習課長）

公共施設の使用料は、施設を利用する人と利用しない人との均衡に配慮し、受益者負担の公平性を確保する観点から、平成28年10月から使用料をいただいております。

施設の利用人数ですが、使用料を開始した平成28年10月から今年9月までと、その前年と比較しますと、さくらドームで約4,000人の減、体育施設では約1,100人の増となります。減員となった要因につきましては、毎週定期的に利用する個人・団体の方が回数を減らしたことにより減ったものと考えられます。

次に、利用者の満足度につきましては、体育施設では、指定管理をしているNPO法人宝達志水スポーツクラブが取りまとめたアンケートによると、ほとんどの方がほぼ満足というデータがでています。

また、施設利用者の男女比につきましては、6：4で女性の方が多く利用しております。今後は、健康づくりや健康維持のため、日頃、施設を利用している方の継続に加え、引き続き宝達志水スポーツクラブが行っている高齢者の介護予防事業や体力維持対策等への支援、また、若者を対象とした公民館講座などに取り組みたいと考えております。

●③安い薬を希望しても病院が実権を握っているのので、町から各病院又は開業医に協力を求めてほしい。

○（健康福祉課長）

ジェネリック医薬品がない場合や、医師の判断により新薬の方が適切だとされる場合を除き、ジェネリック医薬品を希望して医療費を抑えることができます。ジェネリック医薬品希望カードなどを医療機関または薬局へ提示することで希望の意志を伝えられます。

●④同病名で病院を重複掛かっている人は、健康福祉課が把握できると思います。職員が自宅訪問して指導するような対策がほしい。

○（健康福祉課長）

国民健康保険加入者の重複受診は、国民健康保険団体連合会からのリストで把握できます。保健師の健診後の訪問指導の際には、全員ではありませんが重複該当の方にはお話をききながら、その受診が必要かどうか一緒に病院受診について考えております。

●小売り店の復活又は、巡回販売車の導入の検討

①元の商店を利用して、品物を置かせてもらう。または会館で定期販売の検討

○（健康福祉課長）

高齢者の買い物支援の視点から、健康福祉課で把握しているいくつか町内の商店に問い合わせたところ、「元の商店を利用して品物を置かせてもらう」については、できないという回答でありました。

現在、敷浪の商店が毎日麦生にお弁当を配達している家があり、そのついでなら麦生地区への宅配は可能であると聞いています。ただし前日に注文が必要です。また、白山市の訪問販売車が町内に販売に来ておりますが問い合わせたところ、会館での定期販売は可能ということでした。

このように、配達等をしてくれる商店もありますので、少しずつ、話をしていくことも大切かと思えます。

●②図書館巡回車の本を減らして、販売品を載せて巡回出来ないか。

○（生涯学習課長）

移動図書館車「わかば2世」は平成26年3月に貸出図書専用車として改造し、図書館の職員が押水地区を巡回しております。販売品を積み込む場合は、新たに内部を改造しなければならないため多額の費用が発生するため、巡回販売車は考えておりませんのでご理解願います。

●電柱のない道路、通学路のLED取付（田んぼが主）を行ってほしい。

○（学校教育課長）

教育委員会では、平成24年から各学校の通学路の安全確保に向けた「宝達志水町通学路交通安全プログラム」の取り組みを行っていません。メンバーは、羽咋警察署、県土木事務所、通学路安全対策アドバイザー、小中学校長、町危機管理室、町地域整備課、町教育委員会の職員です。

子ども達が安全に通学することができるよう、関係機関と連帯を図りながら、スピーディに危険箇所を改修するため現地で情報を共有し合うといった取り組みです。

今年度は、宝達小学校と宝達中学校で通学路点検を行いました。

平成30年度には、全ての学校で実施する予定ですので、専門家や関係者の指導・助言のもと要望のあった通学路も含めて点検や安全対策の検討を行い、子ども達の安全確保に努めていきたいと考えます。

●質問

大分前だが、駐車場から宝達志水病院に行く経路のU字溝に蓋がされていなかった。夜間などでは気付かずに落ちる人もいると思う。今

はグリーンのカラコーンが置いてあるようだが、蓋はあるのか。

○（総務課長）

現場を確認する。

●質問

麦生は田んぼに囲まれていて広い集落だ。防災行政無線のスピーカーを河川愛護等の行事の呼びかけに使用しても、少し離れると全然聞こえない。スピーカーの増設をできないか。少なくとも今浜よりや宿よりの所、単純に考えてあと3つは必要だ。無理ならば1つでもいい。

○（総務課長）

向きや天候の状態ではなく、普通の状態でも聞こえにくいということか。

○（町長）

増やすとなれば、かなりの経費がかかる。放送は聞こえる人にしか使えないという残念な性能になっている。その特性をご理解の上で、ご使用いただきたい。役場から流す放送については、「安心ほっとメール」で案内できるが、集落での利用では、そういったことはできない。別の手段で、集落の中の連絡をとっていただきたい。

●質問

麦生区で一度サイレンを鳴らしてみようと思う。区の端まで聞こえるか試してみたい。聞こえなかったら効果は無いと思う。その結果をみて検討してほしい。

○（町長）

全国的にあまり有効でないという評判で、それを研究した方も「聞こえる人にしか、役に立たない」と言っている。別の手段も使って、伝達できるようにしてほしい。また、要望があれば言っていただきたい。

●質問

宝達志水病院前の交差点で、マックスバリュー側からの赤信号が長い。時差式ではなく正規の信号に変えられないのか。

○（総務課長）

国道159号の交通量も関係していると思うので、変えられるか羽咋警察署に聞いて、区長に連絡する。

●質問

未だに道路標識は「志雄中学校前」になっている。

○（総務課長）

管理しているのは警察署なので連絡する。

●質問

人間ドックに入ったときに70歳まで助成金が出ると思うが、それを超えたら助成金はないのか。

○（健康づくり推進室長）

今までは70歳までの方を対象としていたが、今年度要綱改正をして来年度から75歳まで引き上げる予定だ。